路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル事業

応募様式A

路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル実証プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	会津乗合自動車株式会社
事業実施地域	会津若松市（芦ノ牧・大戸地区）
共創の類型	・交通事業者間共創　・他分野共創
他分野共創の類型	・こども・子育て　・教育・スポーツ・文化　・観光・まちづくり
共創パートナー	会津乗合自動車株式会社、芦ノ牧温泉観光協会、株式会社丸峰温泉観光ホテル、株式会社大川荘 会津若松市観光課（推薦自治体）、会津若松市地域づくり課（利用促進で連携）、会津若松市公園緑地協会 会津若松市ワーケーション推進協議会、会津鉄道株式会社
運行形態	4条路線バス（高速乗合バス）
運行主体	会津乗合自動車株式会社

現状・課題

（地域交通の現状・課題に関する分析）

当計画地域（芦ノ牧・大戸地区）の立地の悪さによる交通アクセス不便さは、地域住民（大戸地区住民）の住みやすさの低下にも繋がっており、該当地区で深刻化する人口減少等の一要因にもなっていると考えられる。これらの課題解決にアプローチすべく、本事業では該当地域へのアクセス整備として、鉄道等との接続も意識し、各拠点から芦ノ牧・大戸地区までの直通アクセスの継続運営モデル構築に取り組む。本事業では、芦ノ牧温泉ひいては会津地域への交流人口を拡大させると共に、地域住民目線で、既存路線バスの運行ダイヤの増加・補完といった意味合いに加え、新幹線駅等の拠点までの直通アクセスポイントが追加された公共交通として実証運行を実施することで、地域課題解決を目指していくことを目的とする。

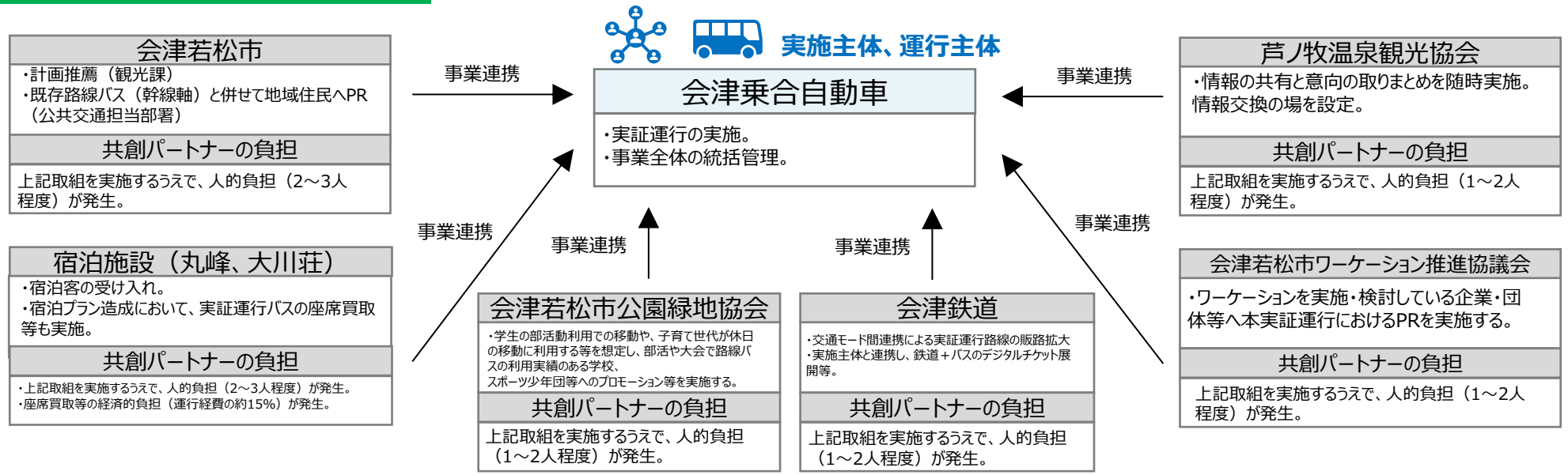
地域公共交通計画への位置づけ（位置づけ予定を含む）	現状無し。今後位置づけるか含め会津若松市地域づくり課と協議予定。	運輸局・運輸支局への事前相談	東北運輸局　交通政策部 交通企画課に事前相談済み
令和５年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無	無し		

路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル事業

応募様式A

路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル実証プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

（事業の概要）

本事業で実施する実証運行バス（郡山～会津若松～芦ノ牧・大地地区）は、既存の路線バスダイヤの増加・補完といった意味合いを含んでおり、当計画地域の交流人口の増加という観点を主眼におきながらも、そこから日常交通の利便を拡充し「地域住民の日常的な移動を促進させる公共交通としても成り立たせる」という新たなモデルを確立することを目指す。

（地域の関係者との連携・協働）

地域の大規模総合運動公園側と協調し、部活や大会で路線バスの利用実績のある学校、スポーツ少年団等へのプロモーション、地域住民へのPRを実施する。また、会津若松市の公共交通担当部署と連携し、既存路線バスの利用促進と併せて地域住民のコミュニティや協議会へ利用促進の働きかけを実施する。

※上記以外の連携の詳細に関しては応募様式Bに記載の内容を参照。

（地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性）

本事業で実施する実証運行バスは、既存の路線バス（幹線軸）の増加・補完的意味合いを持ち運行する。

上記より、会津若松市公共交通担当部署と連携し、既存の路線バスと併せて地域住民等に向け利用促進を図っていく予定。

事業実施手順・スケジュール

以下表は現時点（2024/6/12）の予定であり、今後の進捗状況によってスケジュール・内容等が変動する可能性あり。

実施主体	実施項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
会津乗合自動車	運行計画の策定	■	■							
会津乗合自動車	運輸局への運行許可申請		■	■						
会津乗合自動車	実証運行の実施			■	■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車	車両の導入（発注～導入）			■	■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車、会津若松市 芦ノ牧温泉観光協会、各宿泊ホテル	全体のプロモーション計画策定		■	■						
会津乗合自動車 会津若松市公共交通担当部署	地域住民に対するPR			■	■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車 会津若松市公園緑地協会	部活動、スポーツ少年団等への働きかけ				■	■	■	■		
会津乗合自動車 会津鉄道	交通モード間連携による販路・利便性拡大。バスチケットのデジタル化 及び「鉄道＋バスのデジタルチケット」等も実施検討。			■	■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車 各宿泊ホテル	交通＋宿泊プランの販売（宿で一部座席買取実施）				■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車 各宿泊ホテル、芦ノ牧温泉観光協会	旅行者向けのPR（各宿のwebサイトでアクセス表示する等）			■	■	■	■	■	■	■
会津乗合自動車、会津若松市観光課 ワーケーション推進協議会	ワーケーション利用者に対するPR（新たな需要の掘り起こし）				■	■	■	■	■	■

路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル事業

応募様式A

路線沿線の多様なニーズを集約する相乗りモデル実証プラットフォーム

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

・芦ノ牧温泉への入込数1,600人/年　増加
・地域住民、部活動等の団体利用（観光目的外利用）400人/年　増加

（地域全体に及ぶと想定される効果）

・会津エリアの交流人口480人/年　増加
※会津エリアの交流人口は、宿泊前後で若松市内観光等を実施する観光客数を想定（宿泊の約30%を想定）

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

○	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	○	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

○R7年度
・宿泊ホテル経費負担額：運行経費の約15%
・運送収入：運行経費の約40%（運送収入内訳：観光利用80%、生活利用20%）
・運行会社経費自己負担分：運行経費の約55%

○R8年度
・宿泊ホテル経費負担額：運行経費の約15%
・運送収入：運行経費の約50%（運送収入内訳：観光利用70%、生活利用30%）
・運行会社経費自己負担分：運行経費の約45%

資金面	連携する宿泊ホテルにて、本実証運行における運行経費の約15%程度資金拠出予定。
人材面（運転手の確保）	特に無し